

# 国土交通省安全・安心のためのソフト対策推進大綱

## 第4回フォローアップ(概要)

### 1. フォローアップの概要

- 国土交通省は、安全・安心の確保のために、自然災害を中心として、ハード面に限らず、ソフト面での対策の取組みを進めるため、平成18年6月に「国土交通省安全・安心のためのソフト対策推進大綱」を作成・公表
- 大綱に盛り込まれた施策を着実に推進するため、平成19年より、毎年、各施策の点検作業・フォローアップを実施
- 第4回フォローアップは、原則として、平成21年度中(一部、平成22年5月までを含む)に、国土交通省が実施した施策を対象に、1年間の取組内容を確認するとともに、その進捗状況を点検

例：平成20年6月までに、全国の地方支分部局における業務継続計画(BCP)等を策定済、平成21年度中に事務所等の業務継続計画を概ね策定済。

- 併せて、状況変化に応じた目指すべき姿や施策の効果等を視野に入れながら、必要に応じて、施策内容・対象の変更、達成目標年度の更新等、目標を再設定

例：津波警報・注意報の精度向上と津波情報の充実化(当初目標：平成19年度)

↳ 施策内容：

地震の発生メカニズムを反映した津波予報の提供

平成19年度開始  
(当初目標達成)



遠地地震による津波(チリ沿岸等で発生)  
の予測精度向上

遠地津波予報データベースの改善を図り、  
遠地津波の警報・注意報を高精度化

平成22・23年度

## 2. 平成21年度中※に実施した主な施策

### 1. 災害・事故時の情報提供

#### [改善1]受け手の立場に立った改善

- 防災用語、気象情報・天気予報に使用する用語等の見直し(報道機関等で利用)
- 気象警報・注意報の改善(市町村単位で発表)
- 緊急地震速報迅速化・精度向上と周知・広報
- 携帯電話による入力・閲覧システムの開発 等

#### [改善2]情報の発信における改善

- 台風情報の充実(5日先まで延長した台風進路予報の提供)
- 津波警報・注意報の精度向上と津波情報の充実化
- 突風等に対する短時間予測情報の提供
- 鉄道・道路における一時中断からの早期再開対策 等

#### [改善3]情報の伝達の改善

- 陸・海・空の公共交通機関に係る運行障害情報を一元的かつリアルタイムに収集・提供
- 要援護者向けの災害情報提供技術の仕様化(災害時要援護者へ提供する情報等に対する知見の蓄積)
- 地震時にエレベーターの閉じ込めが発生した場合、利用者に必要な情報提供ができるよう、「昇降機耐震設計・施工指針」を改訂 等

### 2. 平時における広報活動

#### [改善4]ハザードマップ等の改善

- 洪水ハザードマップをはじめとする各種(内水、地震防災、地震危険度、大規模盛土造成地に係る宅地、土砂災害、津波・高潮)のハザードマップの整備の促進
- 建物管理者等への周知(地震災害時の官庁施設の機能確保) 等

#### [改善5]災害・事故時に行われる情報提供についての広報

- 防災訓練、防災に関する各種説明会、ポスター、パンフレットの活用等により、災害・事故情報へのアクセス方法を周知。 等

### 3. 事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)への取組

#### [取組1]応急対策業務のBCP、[取組2]一般継続実施業務のBCP、[取組3]スパイラルアップ

- 平成19年6月に国土交通省BCP(業務継続計画)を作成
- 平成20年6月までに全国の地方支分局にける業務継続計画(業務継続計画に相当する既存の災害時の要領等を含む)を整備、平成21度中に事務所等における業務継続計画を概ね整備
- また、有識者から意見を聴取する等、現行の計画の検証 等

#### [取組4]民間企業によるBCP作成促進

- BCPの策定状況を総合評価基準の加点項目とし、行政情報システム(メール)の調達を実施
- 建設業者、運輸業者等の関係協会等のBCP作成の促進 等

### 4. 自助・共助・公助の機能強化

#### [取組5]地域の防災力の再構築

- 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣(平成21年度は、中国・九州北部豪雨、台風第9号、駿河湾地震において派遣(のべ1,244人・日))
- 住民の避難行動・意識に関する調査等を実施し、防災意識の持続に繋がる避難促進施策の提案・研究 等

※ 一部、平成22年5月までに実施した施策を含む。